

畠山みのり

道政だより

【発行】
 ■畠山みのり道政事務所
 〒005-0006札幌市南区澄川6条4丁目2-1
 澄川ビル2F
 TEL: 011-813-7733
 FAX: 011-813-7778

■道議会民進党・道民連合
 〒060-0002札幌市中央区北2条西6丁目
 URL
<http://minori-hatakeyama.jp>
 facebook
<https://www.facebook.com/hatakeyama.minori>



この通信の配布については、郵送・全戸配布・街頭配布等で行っています。

畠山みのりの活動のひとコマ



6月 澄川駅前
勝部けんじさんを応援



7月 7月29日
道議会 文教委員会として
国会議員へ要請行動



7月 7月30日
文部科学省の各部署へ
要請行動



7月 7月31日
会派 政策審議会として、
十勝地域政策懇談会に出席



8月 8月1日
「全国地方議会サミット2019」に
参加



8月 8月3日
南区「藤野ふるさとまつり」に
参加。阿部後援会長と



8月 8月4日
「難病患者・障害者と家族の
全道集会in札幌」に参加
挨拶をする増田代表理事



8月 8月5日
「LGBTの未来～アメリカから
北海道へ～」に参加



8月 8月6日
札幌市の男女共同参画課長 須
藤陽子さんから「札幌市パート
ナーシップ宣誓制度」に
ついて学びました

畠山みのりプロフィール

- 1965年11月 網走市生まれ
- 1984年 3月 北海道網走南ヶ丘
高等学校卒業
- 1986年 3月 北海道武蔵
女子短期大学卒業
- 1987年 1月 日本電信電話
株式会社入社
- 2015年 4月 北海道議会議員 初当選
- 2019年 4月 二期目当選

■北海道議会
 民主・道民連合政策審議会 副会長
 文教委員会 副会長
 少子高齢化社会対策特別委員会 筆頭理事



8月 8月17日
コープさつぼろ藤野店にて
献血の呼びかけ活動



8月 8月18日
民主議員ネット北海道
2019年政策研修会

2期目もしっかり 取り組みます！

◀北海道議会定例会で質問



ご挨拶

北海道議会議員 畠山みのり

この春の統一自治体選挙において、北海道議会議員として2期目の役割を担うこととなりました。北海道議会議員（第31期）は100名、畠山みのりが所属する会派は「民主・道民連合」で27名、そのうち9名が初当選の1期生です。

会派では引き続き政策審議会のメンバーになり、沖田清志会長（苫小牧市）をはじめ、筆頭副会長には藤川雅司さん（札幌市中央区）、畠山みのりは、池端英昭さん（石狩地域）中川浩利さん（岩見沢市）とともに、副会長に就きました。

委員会は、文教委員会、1期目の前期と同じく少子・高齢社会対策特別委員会に所属し、それぞれ文教委員会副委員長、特別委員会では筆頭理事となりました。

◆文教委員会…学校教育や社会教育、文教施設の整備、文化財の保存などについて調査します。

◆少子・高齢社会対策特別委員会…子育て環境の整備や高齢化対策の推進、介護保険事業などについて調査します。



▲予算特別委員会



▲2期目の当選証書が届きました。

令和元年北海道議会報告

【臨時会】

5月16日から5月22日に臨時会が開催され、新しい議長に自民党・道民議の村田憲俊さん（後志地域）、副議長には民主・道民連合の高橋亨さん（函館市）が就任しました。また、各委員会への委員選出など、会期中に第31期の体制が決まりました。

【第2回定例道議会】

6月20日から7月12日の会期で、統一選挙後初の定例会が行われました。鈴木直道新知事は、全国唯一の財政再生団体である夕張市の首長としてつちかっした経歴を活かし、「ピンチをチャンスに変える」「新たな発想で攻める」「地域とともに考え、行動する」3つの方針を立て、道民目線に立った道政を展開していくとのこと。

北海道の課題として長い間議論されてきた、カジノを含む統合型リゾート（IR）や、JR北海道の路線維持問題、エネルギー政策、また、鈴木知事独自の取り組みである「ほっかいどう応援団会議」についても、これまでにない柔軟な発想を積極的に取り込むとしながらも、具体的な方向や輪郭が見えてこず、会派として今後も議論を続けて行かなければなりません。

【北海道難病連全道集会】

8月4日「難病患者・障害者と家族の全道集会 in 札幌」に参加しました。記念講演は、昨年大泉洋さんの主演で映画化された『こんな夜更けにバナナかよ』の著者渡辺一史さんでした。これは筋ジストロフィーにかかりながらも自らの思いに素直に生きて、皆に愛され続けた実在の人物・鹿野靖明さんと、彼を支えるボランティアの人々や家族の姿を描いたドラマで、ご覧になった方、原作を読んだ方もたくさんいらつしやると思います。

日本にはひとに迷惑をかけてはいけないという価値観がありますが、「自分の人生を自分で生きる」ということが、鹿野さんの大きな価値観であり、そのためにひとに頼ることは、決してワガママとは言えない。最終的には、孤立せず、人と人をつなぎあわせてくれるものであると、渡辺さんはおっしゃっていました。

患者・家族の訴えでは、*バジャー病、シャルコー・マリールー・トゥーア病、脊髄性筋萎縮症など初めて聞く病名もありました。お話をされた3名の方からそれぞれ、困難なことでもたくさんある日常の中でも、ひととコミュニケーションをとる上での気づきなど、自分自身で工夫をしなから、強く生きていらつしやること

※バジャー病：手足の血管がふさがり、さまざまな症状があらわれる病気。発症は30歳代から40歳代の男性に多く、詳しい原因は不明だが、血管の炎症（血管炎）が関係しており、発症には喫煙が大きく関与していると考えられている。

※シャルコー・マリールー・トゥーア病…一般的に手足、特に足先の筋力低下と感覚障害を示す病気。近年の研究によって中枢神経系の障害も含む多様な臨床症状が明らかとなってきた。

※脊髄性筋萎縮症…体幹、手足の筋力低下、筋萎縮を示す運動神経疾患で、一般には知的な異常は伴わない。乳児期早期に発症する重症型から、健康な方とほぼ同様の生活をおくられる型まで、程度は多岐にわたる。

集会は46回をかぞえ、来年は網走市で開催されるとのことです。



【LGBTの理解に向けて】

いよいよ2020年東京オリンピック・パラリンピックが近づいてきました。平和の祭典であるオリンピックには、オリンピック憲章というものがあり、そこには「オリンピック憲章の定める権利および自由は、人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教云々、いかなる種類の差別も受けることなく、享受されなければならない」とあります。

ここ数年の間に経団連では「ダイバーシティ・インクルージョン社会の実現に向けて」という提言書を発表し、性的少数者は見えないマイノリティ（少数派）であるとともに、企業としても取り組みが急務となっていることが述べられ、実際に多くの企業が社員の働きやすい環境、制度の充実に取り組んでいます。

NTTグループでは2016年4月、社員の結婚・忌引きなどの特別休暇や結婚祝金、弔慰金など重要なライフイベントに関わる制度について、社員の同性パートナーをこれまでの配偶者と同様に扱うよう、見直しがされました。その後、今年度からは社内規定に「配偶者」という名称ではなくすべて「パートナー」と書き換えられています。

社会のこのような動きに対し、3月の予算特別委員会で道職員に対する対応を質したところ、道は「職場や地域などにおける理解促進のための取り組みと同様に、道の職場においてもLGBTの方々への理解を深め、誰もが自

分らしく安心して働くことができる環境づくりに向け、普及啓発などの継続的な取り組みを進めていくことが重要と考えている。」としながらも、同性パートナーへの「手当などの公金の支出につながる取り扱いには、道民の皆様との十分な理解が必要である。」とし、議論は進みませんでした。この質問に立つまでに、担当と何度も意見交換をしました。たくさんの方々のルールの中で、苦労しながら工夫する様子も感じるところではあります。やはり、目の前にいらつしやるかもしれない当事者の方々が置かれている状況を見て、しっかりと対応していくことが必要ではないかと考えます。その結果、道職員が生き生きと働けるようになり、それが道民サービスへもつながるのではないのでしょうか。

※LGBT：自分が思う性別と、身体の形、そして好きになる相手の性別、これらの幾通りかの組み合わせで、少数派となるのが性的マイノリティ、LGBT（レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字）と言われる。実際には性自認や性的指向を定めない人、Q（クエスチョン）など、非常に複雑であり、ある調査によると、左利きの人と同じくらい割合で存在する。

※ダイバーシティ・インクルージョン…直訳すると、ダイバーシティ（多様性）とインクルージョン（包括・包含）。一人ひとりの個性（性別、年齢、障がいの有無、働き方など）を尊重し、共に支えあうことで、それぞれが持つ個性や能力を最大限に発揮できる環境・風土をつくること。

【中央要請行動】

7月29日と30日の二日間、文教委員会の笠井龍司委員長（釧路市）とともに、北海道の文教施策の推進や、令和2年度の予算要望のため、文部科学省やスポーツ庁、文化庁、また道内選出の各国会議員のところへ伺いました。北海道は広域であり、どこに住んでいても同じ水準の教育が受けられるよう、ICT*の活用や教育にかかる財政措置、学ぶ環境の整備、教職員の配置など様々な課題があります。



*Information and Communication Technology の略。情報通信技術。



【地方議会サミット】

8月1日から2日間にわたり東京ビッグサイトにて行われた「全国地方議会サミット2019」に参加しました。全国都道府県から自治体議員が集まり、議会改革の事例や、市民の目線、首長の目線、国会議員が地方議会をどのように見ているかなどが話され、初めての参加でいろいろと刺激を受けました。

今年のテーマは「チーム議会が地域をより良くする」。議会事務局も議員も一緒に考え、議論し、行動することで、生きた議会が生まれるのだと、今さらながら感じました。この研修会の意義は、地方議会から地方を変え、地方から国を変えていくことです。この学びを活かし、2期目の地方議員として、しっかりと役割を果たしたいと思えます。



主な活動	
2019年4月	自立北海道政策研究会 平成31年度澄川商工会定期大会 南区少年軟式野球大会開会式
2019年5月	日中友好交流観桜会 i 女性会議全体会議 澄川開拓記念之碑例祭 第1回臨時会（5月22日まで） 石山地区社会福祉協議会定期総会 澄川第1区町内会花植え
2019年6月	常任委員会・特別委員会 夜間中学を作る会定期総会 東北海道商工会議所要望活動 議会運営委員会 第2回定例会（7月12日まで） 南区少年野球大会 いのちとくらしを守る全道女性集会 南消防団防災総合訓練
2019年7月	常任委員会・特別委員会 アイ又議連総会 予算特別委員会 文教委員会 中央要請
2019年8月	全国地方議会サミット 常任委員会・特別委員会 難病患者・障害者と家族の会全道集会 LGBTの未来 札幌市パートナーシップ制度勉強会